

# オピニオン opinion



○協同組合ハイコープ山梨地区本部

甲斐路100km歩け歩け大会

実行副委員長 石井敬康氏

(疾測量株式会社 代表取締役)

## 社員教育が企業の幅を広げる

◆甲斐路100km歩け歩け大会とはどのようなイベントですか？

この事業は甲府盆地周辺の100kmを二日間かけて歩き通すもので、10回目になる今年は10月11～12日に実施、組合員の事業所から137名の歩者と92名のサポーターが参加し、約80%が完歩しました。

◆なぜこうしたイベントを行っているのですか？

組合員企業の社員教育を目的として、異業種が集まる当組合の共同事業として行っています。

100kmを休まずに歩き通すということは普段できない経験です。この大会に参加することで、組合員企業の社員には、自分の限界に挑戦して乗り越える機会にしようということと参加者が支え合い励まし合うことで誰かを助けることの大切さを体験してもらいたいと考えています。大変な苦勞を乗り越えられたことで見違えるように積極的になった若手社員や、助け合いながら困難を克服した経験を共有したことで社内での配慮や協力し合う意識が生まれるなど、通常の座学やOJTの教育研修では得られない結果が生まれています。また、異なる業界の社員同士の交流で、他社の良いところに触れて啓発される場面も少なくありません。

◆なぜそこまで社員教育が大切だと考えるのですか？

社員にただ一生懸命働いてもらえるようにするだけではなく、企業のパワーは上がっていきません。仕事に関連する技術や技能に関する教育も重要ですが、仕事では学べない様々な経験を積んでもらうことで社員の社会性や人間力が高まり、企業のパワーが上がっていくと思います。社員の人間としての素養が高まることで、顧客との円滑なコミュニケーションや社内でのチームワークの向上につながった結果、企業としての幅が広がっていくと思います。

企業は社員を仕事に集中させるだけではなく、社会教育まで踏み込む必要があります。

◆これからどのような展開をしていきますか？

11月22日に100km歩け歩け大会に参加した独身男女12人で婚活イベントを開催しました。困難な体験を共有した男女の中からカップルが生まれて、仕事もプライベートも両方が充実した生き方をしてもらえれば、企業にとって大変喜ばしいことです。

感動！感謝！感激のスローガンのもと、これからも社員教育の一環として100km歩け歩け大会を継続していきたいと考えています。